

## 編 集 後 記

2年前に本雑誌の編集委員長を拝命して、早2年が経つ。当初は編集長の仕事がわからず、編集室や継続している編集委員に話を聞きながら仕事をさせてもらった。和文誌には沢山のご投稿をいただいており、感謝に堪えない。

一方、先天性心疾患を対象としいう英文雑誌が続々と発刊されつつあり、本邦の循環器連合として隣国の脅威をひしひしと感じている。当英文誌については発刊されて5年が経とうとしている。どうにかJ-Stageにも収載されるようになったが、依然として知名度は低く原著論文の投稿は少ない。

この編集後記が出る頃には、当英文誌がPubMed収載、将来はImpact Factor取得を目標とすることが決定されているものと考える。ご承知のようにImpact Factorは引用件数をもとに計算されるため、会員の皆様にはそのことを踏まえて、質の高いオリジナル研究の発表の場として当英文誌を考えていただくこと、逆にImpact Factorのある雑誌に投稿される際には、当英文誌の論文を引用していただくことを希望する。協力して当英文誌を世界に誇れる雑誌にしていきましょう。

(須田憲治)